



石田 泰尚【ヴァイオリン】ISHIDA Yasunao

神奈川県出身。国立音楽大学を首席で卒業、同時に矢田部賞受賞。新星日本交響楽団コンサートマスターを経て、2001年神奈川フィルハーモニー管弦楽団ソロ・コンサートマスターに就任。以来“神奈川フィルの顔”となり現在は首席ソロ・コンサートマスターとしてその重責を担っている。これまでに神奈川文化賞未来賞、横浜文化賞文化・芸術奨励賞を受賞。結成時から30年参加するYAMATO String Quartet、自身がプロデュースした弦楽アンサンブル“石田組”など様々なユニットでも独特の輝きを見せる。2018年には石田組がNHK-FM「ベストオブクラシック」およびBSプレミアム「クラシック倶楽部」で放送されその熱いステージの様子は大きな反響を呼び、2019年にはEテレ「ららら♪クラシック」で特集が組まれた。2020年4月より京都市交響楽団特別客演コンサートマスター(2025年4月よりソロコンサートマスター)を兼任。2022年に初の著書となる「音楽家である前に、人間であれ!」を刊行。ミュゼ川崎シンフォニーホールにて無伴奏から協奏曲まで様々な編成で演奏する「石田泰尚スペシャル 熱狂の夜」を2022年から隔年で開催。2024年には石田組でNHK「あさイチ」に出演、日本武道館公演を行い8,000人以上を動員し大きな話題となった。同年リリースされた『石田組 結成10周年記念 2024・春』が第39回日本ゴールドディスク大賞インストゥルメンタル・アルバム・オブ・ザ・イヤーを受賞した。2025年4月より横浜みなとみらいホール「プロデューサー in レジデンス」第3代プロデューサーに就任。2025年12月より川崎市市民文化大使に就任。2026年10月11日には石田組で大阪城ホール公演が予定されている。使用楽器は1690年製 G.Tononi、1726年製 M.Goffriller。

Norizumi Kitada / Universal Music

岡本知也【ピアノ】OKAMOTO Tomoya

国立音楽大学附属音楽高等学校を経て同大学を卒業し、渡仏。パリ地方音楽院上級課程ピアノ科をディプロムを取得して卒業。帰国後、国立音楽大学大学院音楽研究科修士課程を修了。ソロはもとより、アンサンブルピアニストとして内外の演奏家との共演を重ねる。第10回神戸国際フルートコンクールをはじめ、日本木管コンクール、日本フルートコンヴェンションコンクールでは公式伴奏者を務める。また、東京フィルハーモニー交響楽団には鍵盤楽器奏者として客演しているほか、映画やドラマのサウンドトラックやTV-CMなど、スタジオワークにも参加している。第19回かながわ音楽コンクールユースピアノ部門にて特選、第14回プレストピアノ国際コンクールでは審査員満場一致の一等メダルを獲得。第34回霧島国際音楽祭賞受賞。第21回友愛ドイツ歌曲コンクールにて優秀共演者賞、第12回秋吉台音楽コンクール室内楽(二重奏)部門では第1位と山口県知事賞を受賞。永田純子、平澤一博、安藤丘、三木香代、イヴ・アンリ、練木繁夫の各氏に師事。現在、東京藝術大学音楽学部管打楽科伴奏助手、国立音楽大学ピアノ科及び、同大学院修士課程非常勤講師。



©Shigeto IMURA

リサイタルに寄せて

石田さんは、美しい音、旋律の美しさ、そして速いパッセージを弾く超絶技巧の持ち主ですが、今回のプログラムは前2者を余すところなく表現した、ロマン派の曲が並びました。ご堪能ください。

Rzp LLC 代表 磯部波男

